

校長

〇トップリーダーとしての力を養う

トップリーダーとして、教育に関する明確なビジョンを持ち、教職員一人ひとりの力量、機能的・創造的な組織力を高めます。

新任校長研修

校長研修

基礎的校長としての資質・能力	校長として学び続ける力	子どもや社会の変化を見据え、教職員集団として成長を図り、信頼される学校づくりが進むよう、自らも学び続ける。	
	人間性を高め続ける	学校経営責任者としての使命感や熱意、教職員や子どもに対する責任感や深い愛情、適切な人権感覚、社会人としての礼儀や規律、教育公務員としての自覚を持ち、それらを主体的に高め続ける。	
	社会性を高め続ける	社会人として、社会の状況を把握し、適切な表現力やコミュニケーション能力を持ち、教職員や子ども、保護者・地域等との良好な人間関係を構築し、協働的に職務を遂行する。	
	自らを律する	健康管理と基本的な生活習慣の維持を行うとともに、法令や規則及び危機管理の知識や視点を持つ等、職務遂行のための業務管理及び自己管理を行う。	
専門的校長としての資質・能力	学校マネジメント	組織マネジメント	川崎市総合計画やかわさき教育プランの基本方針等施策を理解し、その理念を学校教育目標に生かすとともに、実現に向けて教職員をまとめ、助言を行う。
		組織マネジメント	新しい時代のニーズや動向を見据えて、学校教育目標や学校経営方針等を生かした教育課程を編成するとともに、「キャリア在り方生き方教育」「人権尊重教育」「特別支援教育」「教育相談」等の視点も持ちながら、様々な教育課題に取り組むために、学校全体がチームとして機能する組織づくりを行う。
		組織マネジメント	「学習指導等」や「児童生徒指導等」を含めた一人ひとりの子に応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させる環境づくりのために、自校の教育内容と教育活動のビジョンを示し、その実現のために必要なICT環境やその実践を推進するとともに、情報モラル及び情報セキュリティを含む教育の情報化の推進について学校全体での体制の構築と、学校情報管理の徹底を図る。
		組織マネジメント	適正な学校評価に努め、その結果を踏まえて教育活動の改善に結びつけ、学校全体の校務の課題を把握し、改善に向けて体制を整える。
		組織マネジメント	社会や学校を取り巻く様々な環境に関するデータや情報について収集・整理・分析し共有することで、具体的な方策を考え、学校運営に反映する。
		組織マネジメント	学校の責任者として、校務をつかさどり、学校内外の関係者の相互関係力を高めることにより、学校の教育力を最大限に高める。
	地域等連携・協働におけるマネジメント	地域等連携・協働におけるマネジメント	地域の人々や関係機関に積極的に情報の発信を行うとともに、保護者・地域等と目標やビジョンを共有し、連携・協働のもと学校施設の有効的な活用を含めて、社会に開かれた特色ある学校づくりを推進する。
		地域等連携・協働におけるマネジメント	学校全体で特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の対応が促進するよう、地域や関係機関と連携しながら組織的な取組を推進する。
	教職員の管理・人材育成マネジメント	教職員の管理・人材育成マネジメント	学校全体で教職員の人材育成を継続的に行い、ライフステージに応じた人材育成を進めるとともに、教職員の意欲や能力が高まるよう、取組の過程や成果に対して的確な評価を行う。
		教職員の管理・人材育成マネジメント	教職員の資質能力の向上を図るために、研修における成果と課題を把握し、校内研修等の体制づくりと研修の推進を図り、「学び続ける教職員」を育成する。
		教職員の管理・人材育成マネジメント	教職員の服務監督を適切に行うとともに、法令等の知識及びその趣旨を的確に捉え、それに基づいた未然防止に向けた指導体制の構築を図る等、適正な学校経営を行う。
		教職員の管理・人材育成マネジメント	学校における働き方・仕事の進め方改革推進の視点から、教職員の働き方や健康の増進等に関する意識改革を図るとともに、業務改善など負担軽減に向けた取組を実施する。
	リスクマネジメント	リスクマネジメント	施設・事務(財務・文書等)の管理状況を掌握するとともに、学校安全に対する意識を高く持ち、関係機関と連携しながら、学校の危機管理体制を整備し、緊急時にはリーダーシップを発揮し、迅速かつ的確に判断して、指示を出す。
		リスクマネジメント	感染症の拡大や事件・事故等、不測の事態にも迅速かつ的確に対応するために、教職員や児童生徒の健康及び安全を適正に管理するとともに、未然防止にも取り組む。
学習指導等	学習指導等	・子どもが意欲的に学ぶ授業、子どもを中心としたわかる授業の実現に向けた適切な助言を教職員に対して行い、学校全体の授業力向上や評価の改善を図るなど、教育課程の編成に努める。 ・学校全体で特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、学習における支援方法を共有するなど、ICTの効果的な活用を含めた組織的な対応の推進のため、教職員への助言を行う。 ・学校全体で組織的に情報活用能力を育成するカリキュラム作成及び改善を推進するため、教職員への助言を行う。	
児童生徒指導等	児童生徒指導等	・学校教育目標等を踏まえ、「キャリア在り方生き方教育」「人権尊重教育」「特別支援教育」「教育相談」等の視点も含めて、教職員や子どもの状況を把握し、学級や学年への支援や関係機関との連携を図り、子ども相互及び子どもと教職員とのよりよい人間関係の構築に向けた組織づくりをする。 ・一人ひとりのニーズに応じた指導について、指導体制の構築を強化し、組織的に対応・実践し、不登校等も含めたすべての子どもの社会的自立に向けた取組を教育課程に適切に位置付けて、学校全体で計画的、組織的な推進を行う。 ・学校全体で、特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性等を理解し、学校生活における支援方法を共有するなど、ICTの効果的な活用を含めた組織的な対応を推進するため、教職員への助言を行う。 ・子どもの発達の段階とその特徴を踏まえた情報モラル及び情報セキュリティ指導について、指導体制を構築するとともに、学校全体で計画的、組織的な実践が進むよう、教職員への助言を行う。	